

## 2018年12月期 通期決算説明会 質疑応答の要約

2019年2月12日(火)に開催した、決算説明会において、出席者の皆さまから頂いた質問をまとめたものです。GMO インターネット 代表取締役会長兼社長・グループ代表の熊谷より回答させていただきました。

### ●連結業績について

【Q1】 業績予想の非開示を継続することだが、今期の成長見通しは？

【A1】 コア事業であるインフラ事業、金融事業は最高業績を更新したとおり、好調な状況です。今まで通りの伸び（成長）が続くと考えており、これら既存事業に仮想通貨マイニング事業の収益が乗ってくるイメージです（収益性は改善するため）。ただし、業績予想についてはFX、仮想通貨マイニング事業は市況の影響が大きいので、開示は行なわないという判断をしています。

【Q2】 インフラの成長ドライバーが決済・SSLとの説明があったが、今後も継続するのか？

【A2】 インフラ事業では全てのプロダクトにおいて、コストパフォーマンスナンバーワンの商材を提供しています。ストック型商材でインターネットが続く限り、継続利用が見込め、成長も継続します。また、国内ではやがて成長が頭打ちになるタイミングもいずれくると思いますが、同等以上のプロダクトをZ.comブランドを通じて海外で展開することで、高成長を継続させたいと考えています。

### ●仮想通貨事業について

【Q3】 仮想通貨交換事業の好調の要因、今後の見通しは？

【A3】 金融事業で展開している世界No1の（取引量を誇る）FXのノウハウを横展開できていることが要因だと考えています。

【Q4】 仮想通貨マイニング事業については、電気代の安いところでの説明があったが、従来の北欧2拠点体制からどう変わるのか？

【A4】 北欧拠点2拠点のうち、1拠点については既に閉鎖済みで、もう1つの拠点については移転作業中です。移転が完了するには年内いっぱいかかる見通しです。具体的な移転先は事業上の秘密だが、電気代は北欧の半分以下となる見込みで（北欧の電力代は運営費込みでkWhあたり7~8セント）、移転の影響が数字に現れてくるのは夏頃ではないかと考えています。

# GMO INTERNET

- 【Q5】 仮想通貨ペイメント事業の「GYEN」のスケジュール感、発行予定国について教えてほしい。
- 【A5】 昨年中盤に発表したステーブルコイン「GYEN」の構想については、今年度中に海外で発行したいと考えています。法人設立・担当者やエンジニアの専任など順調に進んできており、提供国含め、近々発表できるのではないかと考えている。

## ●金融領域の取り組みについて

- 【Q6】 広い意味での金融領域の存在感が増してきているが、売上の構成比率は変わっていくのか。また投資を（金融事業に）傾斜させていくのか教えてほしい。
- 【A6】 金融領域は変わらずに注力するというスタンスで「傾斜」とは考えていない。売上の構成比よりは、インフラ、金融、海外を強くすることで利益の柱を増やしていきたいと考えています。
- 【Q7】 GMOあおぞらネット銀行は決済領域を中心に展開しているが今後のシナリオは？
- 【A7】 決済とテクノロジーの掛け算が我々の強みだと考えています。バランスシートを使った融資事業というよりは、トランザクションをマネタイズするプラットフォーム銀行を志向しています。

以上